

奈良県庁内ネットワーク環境移行に係る調査・分析業務 提案書評価表

番号	評価対象 内容	項 目	提案を求める内容	判断基準	評価のポイント	項目 評価点	項目 加重点	項目 技術点	技術点 合計
1	業務履行 能力	類似契約 実績	・受注名称及び概要	①本調達の公告時点から過去5年間の以下の受注実績について記載すること。なお、実績は最大5件までとする。（6件以上の実績を挙げた場合、本項目は評価しない） （類似業務） ・地方公共団体における $\alpha$ モデル→ $\beta$ ・ $\beta$ 'モデル移行または $\beta$ ・ $\beta$ 'モデル→ $\alpha$ モデル移行の設計業務または移行業務のいずれかまたは両方を含む業務で契約金額が500万円以上のもの （関連業務） ・国又は地方公共団体における庁内ネットワークの設計または構築のいずれかまたは両方を含む業務で、契約金額が設計は500万円以上、構築または設計と構築の両方のものは3,000万円以上のもの、もしくは接続する端末数が3,000台以上のもの ・国又は地方公共団体における統合基盤（団体内のシステムを仮想化して統合運用する基盤を指す、パブリッククラウド上のものも含む）の設計または構築のいずれかまたは両方を含む業務で、契約金額が設計は500万円以上、構築または設計と構築の両方のものは3,000万円以上のもの、もしくは利用するユーザー数が3,000以上のもの ②契約書の写し又は契約実績が確認できる資料を添付すること なお、契約書の写し又は契約実績が確認できる資料だけでは契約内容や上記の条件を満たしているかがわかりにくい場合は、仕様書の写し等、内容がわかる資料を添付すること  ※JVを組んだ参加者については、各構成員の実績から項目評価点を算出しその平均により評価する（小数第一位四捨五入）	・類似業務の契約件数1件につき5点（団体規模は問わない） ・関連業務の契約件数1件につき1点、ただし設計と構築の両方のものは2点 ・いずれも実績書類が不明瞭な場合は点数半減（小数第一位四捨五入） ・関連業務について都道府県及び政令市以外の実績は1点減点 ・合計点が10点を超えた場合は10点 ・6件以上の実績を提示している場合は0点	10	10	100	200
2		体制	・プロジェクト体制 ・人員の経験及び保有資格 ・人員交代基準と引き継ぎ方法	①プロジェクトの体制について記載すること ②プロジェクト責任者以外に本業務を遂行する上で必要と想定される主要な人員について、当該人員の役割と人数を必要とする理由と共に記述こと。なお、当該人員の本業務への関わり方（打ち合わせへの参加や県とのやり取り等を含む）についても記載すること ③プロジェクト責任者及びプロジェクト責任者以外の主要な人員について、前項の類似業務または関係業務に関わる経験年数並びに保有資格を記載すること ④やむを得ず人員が交代する場合の基準を示すこと。合わせて交代する場合の引き継ぎの方法について記載すること（これらがプロジェクト責任者とプロジェクト責任者以外の人員で異なる場合はそれぞれの場合について記載すること）	・本業務を履行できる体制を具体的に提案できているか ・プロジェクト責任者以外の人員について、役割の必要性と人数が妥当か ・プロジェクト責任者及びプロジェクト責任者以外の人員の経験及び資格は充分か （想定資格：プロジェクト管理分野、ネットワーク分野、セキュリティ分野、クラウドサービス分野等） ・人員交代時の基準と手順が妥当か	10	10	100	
3	実施方法	スケジュール	・スケジュール	①想定する業務内容とそれに対応する人員及びスケジュールについて、仕様書の4. 業務委託要件の4.1～4.6の各項目の推移が分かる形で記載すること ②中間報告及び最終報告を行うまでに実施が必要な作業とそれぞれの実施時期及び期間を示すこと	・想定している業務内容とそれに対応する人員及びスケジュールが現実的があるか ・スケジュールの実現性について客観的に示されているか ・中間報告及び最終報告をそれぞれの期限までに行う上で実現性のあるスケジュールか	10	10	100	300
4		役割分担	県との役割分担	①想定する業務内容の県と受託者の役割分担について説明すること ②想定する県側の工数を示すこと ③県側の作業負担を軽減するための取り組みについて説明すること	・作業分担内容が明確かつ詳細に示されているか ・作業分担内容が適切か ・作業工数が根拠に基づいて示されているか ・県側の作業負担軽減のための工夫を行っているか	10	15	150	
5		プロジェクト 管理	・プロジェクトの 管理方法 ・打ち合わせ方法	①県と受託者間で課題や進捗を管理する方法について説明すること ②想定する県と受託者の打ち合わせ内容、方法及び回数について説明すること。なお、時期や進捗状況等によってこれらが異なる場合は理由と共に示すこと ③プロジェクトの品質管理の基準を示すこと	・課題や進捗の管理方法が県に配慮したものであるか ・業務を進める上で打ち合わせの内容や時期を考慮した打ち合わせ方法となっているか ・県への進捗報告を適切なタイミングで行う想定となっているか ・プロジェクトの品質を維持するための具体的な基準が示されているか	10	5	50	
6	仕様要件	仕様書の 理解度	・調達内容、目的	①仕様書を踏まえた上で、奈良県の $\beta$ 'モデル移行の要点を記述すること ②自社が本業務を遂行する上での基本的な考え方及びアピールポイント等について記載すること ③ $\beta$ 'モデルへの移行の必要性及び移行により実現する新たな利便性について記述すること ④奈良県及び国や関係省庁等のあり方、動向を踏まえて記載すること	・仕様書の内容を理解した説明となっているか ・ $\beta$ 'モデルを理解した説明となっているか ・移行の必要性を客観的に説明したものであるか ・移行により実現する新たな利便性を具体的に記載しているか ・奈良県の現状及び奈良デジタル戦略を踏まえた説明となっているか ・国や関係省庁等の動向を踏まえた説明となっているか	10	5	50	1150
7		全体像	・ $\beta$ 'モデル移行後の 全体像の理解	①自社が想定する $\beta$ 'モデル移行後の奈良県の全体像について説明すること	・仕様書の内容を理解した説明となっているか ・ $\beta$ 'モデルを理解した説明となっているか ・奈良県の状況に合わせた想定となっているか	10	20	200	
8		現状調査	・調査基本方針 ・調査範囲	①仕様書の4. 業務委託要件の4.1の項目について調査項目全体を通した選定の考え方を示すこと ②調査項目を選定する際の根拠及び考え方を示すこと ③調査項目の洗い出しの方法を具体的に記載すること ④調査を必要とする範囲を決定する考え方を示すこと （例：IDの管理方法を検討するためにLGWAN系及びインターネット系のADやADMS等現行でID管理を行っているシステム等を調査する、マイナンバー系は本業務が主に対象としている範囲に含まれないため調査しない等）	・調査項目全体の選定の考え方が示されているか ・調査項目選定の根拠、目的、考え方が示されているか ・調査項目の洗い出しの方法が具体化されているか ・調査範囲選定の具体的な考え方が示されているか ・調査対象とするかの判断基準が示されている	10	15	150	
9			・調査方法 ・効率的な手法	①調査方法を記載すること ②調査を効率的に行うための手法について記載すること ③県側の作業負担を小さくするための工夫について記載すること	・できるだけ定量的な結果が得られる方法が提案されているか ・優先度、重要度、作業量が考慮されているか ・調査実施にあたって、県側の作業負担が少なくなるような工夫がなされ、効率的な考え方が示されているか	10	15	150	
10		検討及び 課題抽出	検討及び課題抽出	①仕様書の4. 業務委託要件の4.2～4.6の各項目の検討にあたり現状調査の結果の活用方法を記載すること ②検討の手法とその手法を採用する理由を記載すること ③検討結果から課題抽出を行う過程を説明すること	・検討にあたり現状調査の結果の活用方法が具体的に示されているか ・検討する項目ごとに重要度、優先度を考慮した内容であるか ・検討手法とその手法を採用する理由が示されているか	10	15	150	
11		方向性 検討	$\beta$ '移行の方向性の 検討	① $\beta$ 'への移行方法の検討方法について説明すること	・現状調査、検討を踏まえ、 $\beta$ 'モデルへの移行方法をどのように導きだそうとしているか。また、その考え方が妥当か ・ $\beta$ 'モデル移行に関する技術動向や奈良県及び関連団体等の動向等を踏まえた検討を行う提案となっているか	10	15	150	
12			庁内ネットワー ク、セキュリティ 対策の方向性の検 討	①庁内ネットワーク及びセキュリティ対策の在り方の検討方法について説明すること	・現状調査、検討を踏まえ、庁内ネットワーク、セキュリティ対策の在り方をどのように導きだそうとしているか。また、その考え方が妥当か ・庁内ネットワーク、セキュリティ対策に関する技術動向や奈良県及び関連団体等の動向等を踏まえた検討を行う提案となっているか	10	15	150	
13			ハードウェア統合 基盤の方向性の検 討	①ハードウェア統合基盤等の在り方検討の検討方法について説明すること	・現状調査、検討を踏まえ、ハードウェア統合基盤の在り方をどのように導きだそうとしているか。また、その考え方が妥当か ・ハードウェア統合基盤に関する技術動向、国・他自治体動向調査の実施を行い検討を行うか。 ・メールシステムに関する技術動向、国・他自治体動向調査の実施を行い検討を行うか。	10	15	150	



奈良県庁内ネットワーク環境移行に係る調査・分析業務 提案書評価表

番号	評価対象 内容	項 目	提案を求める内容	判断基準	評価のポイント	項目 評価点	項目 加重点	項目 技術点	技術点 合計
14	成果物	想定成果物	・ 想定成果物	①仕様書に定める成果物以外に本業務で想定される成果物について名称及び内容を説明すること ②上記の成果物が想定される理由を説明すること ③県が構築時の調達を行う際に、幅広い参加者を募ることが可能な成果物を作成するための方針や工夫について説明すること	・ 想定される成果物とその理由が妥当なものか ・ ベンダー固有の技術に依存した仕様になることを防ぐための取り組みについて説明されているか	10	15	150	200
15		積算根拠	・ 積算金額の算出 方法	①積算金額の算出方法についてその単価や価格の算出方法について説明すること ②上記について概算費用積算書と最終積算書で算出方法が異なる場合はそれぞれ説明すること	・ 積算金額算出にあたり想定する積算根拠の獲得方法が妥当なものか	10	5	50	
16	独自提案	独自提案	・ 仕様書に定める 内容以外の提案	①今回の費用の範囲内で仕様書に定める内容以外に、奈良県がモデル調査・分析業務を進める上で必要または有益となる独自提案があれば提案すること	・ 必要または有益と考えられる提案であるか	10	15	150	150